

第1回議会基本条例調査特別委員会 要点記録

開閉会日時	令和2年7月7日(火曜日)			開会	10:40	会議場所		別海町議会 委員会室2・3	
				閉会	11:52				
議員の出欠	1 番	宮越 正人	出席	10 番	小林 敏之	出席	13 番	中村 忠士	出席
	2 番	横田 保江	出席	11 番	瀧川 榮子	出席	14 番	佐藤 初雄	出席
	3 番	田村 秀男	出席	12 番	松原 政勝	出席	15 番	戸田 憲悦	出席
出席説明員	総務部長		総務部次長兼総務課長		総合政策課長		総合政策課主幹		
	浦山 吉人	欠席	佐々木 栄典	欠席	三戸 俊人	欠席	皆川 学	欠席	
	総合政策課主査								
	大森 圭介	欠席							
委員外の出席	議長	西原 浩					合計	0名	
事務局職員	事務局長	小島 実	主幹	松本 博史					
傍聴者数	一般	0名	議会モニター	0名		議会サポーター	0名		
	報道関係者	1名					合計	1名	

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 14番 佐藤	10:40 開会・挨拶 開催概要説明 会期1日、出席委員9名、欠席委員0名、員外1名 議長
委員長 14番 佐藤	開会挨拶
委員長 14番 佐藤	議事1 調査計画及び調査スケジュールについて
委員長 14番 佐藤	1 調査計画について
事務局主幹 松本	資料により内容説明
	(1) 議決要件について
	① 根拠法令
	② 調査のポイント
	(2) 自治基本条例との関連性について
	① 調査のポイント
	(3) 成文化について
	① 成文化の調査手順(案)
委員長 14番 佐藤	委員間討議
委員 3番 田村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議決要件だけでなく、議会運営の基本原則、議員の政治倫理についても重要な調査になると考える。一番心配されるのが、議決要件に特化した調査をすることで、そもそも現在の自治基本条例は、議決要件を前提に制定されているにもかかわらず、その考え方が尊重されないような方向性に議論が進むことである。議会基本条例で議決要件を規定するとしたら、自治基本条例との整合性をどのようにすべきか調整をしなければならないと考える。調査の進め方としては、説明の手順によることとして良いのではないかと考える。 ・ 管内では、羅臼町も中標津町も根室市も、基本計画は、議決要件にしている。西原議長がかつて一般質問したときも、私が一般質問をしたときも、議決要件にする考えがないという答弁であり、行政の姿勢は頑なである。このため、議長と町長とリーダー間での調整もお願いしたい。 ・ 発言してよろしいか。 ・ 発言を許可する。 ・ 町側との協議が必要とのことであるが、この委員会を中心に協議していただき、議会として所管との刷り合わせもお願いしたい。 ・ 委員会として出席要求しても、担当職員では、議会の考えに対して「やります」「条例を変えます」などの判断ができない。大枠の方向性については、やはり
議長 西原	
委員長 14番 佐藤	
議長 西原	
委員 3番 田村	

第1回議会基本条例調査特別委員会 要点記録

		<p>議長と町長とで調整をしてもらいたいと考える。根回してもらわないとなかなか難しい。なにしろ本会議で「やらない」と答弁されている考えを転換してもらわないとならない。別海町のために議会活動がんばっており、良いことをしようとしているのだから、執行機関にも議会運営、議会活動に理解してもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もっともな意見である。事務局で整理をおねがしたい案件が2件ある。1つは、自治体の条例の規定、例えば、議決要件規程などを首長が覆すことができるのか。もう1つは、合意形成での苦労が予想されるが、経験のある議会の情報を示してほしい。これらを調査の参考としたい。 ・ 町長と調整するのはやぶさかではないが、命を受けてからでないとなかなか難しいので、特別委員会の議論の結果を受けながら、並行して調整をやりたい。 ・ 基本計画の議決要件化については、これまでも論議があったが、これまでは会議で議論がされておらず、こうした会議で結論を出して調整することはよいことだと考える。 ・ そもそも地方自治法には、普通地方公共団体が基本構想を策定するとき、議会の議決が必要であったが、地方分権による改正によって、その取り組み方は、各自治体に委ねられることとなった。その取り組み方については、法律で規定する領域と、自治体に裁量がある領域と、自治体議会が自ら定める領域とがある。栗山町議会でもそうした議論がなされたい。 ・ 議決要件については、今後の委員会において調査を深めていくこととする。
副委員長	13番 中村	
議長	西原	
委員	12番 松原	
委員	3番 田村	
委員長	14番 佐藤	
委員長	14番 佐藤	
事務局主幹	松本	
委員長	14番 佐藤	
委員	3番 田村	
委員長	14番 佐藤	<p>2 調査スケジュール（案）について 資料により内容説明</p> <p>(1) 調査日程（案）について</p> <p>(2) 調査スケジュール（案）について</p> <p>委員間討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査日程やスケジュールの流れについては理解した。令和3年第1回定例会で基本条例を議決しようという考えであろうと思うが、おそらく、町民は、議決要件以外の議会基本条例の中身については、それほど関心がないのかもしれない。私たちが、行政に指摘しているようなことにならないように、調査なり住民の意見聴取なりを進めれば、良い条例ができるのではないかと。
委員長	14番 佐藤	<p>議事2 住民意見の聴取方針について</p> <p>1 聴取方針について 資料により内容説明</p> <p>委員間討議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パブリックコメントを行うのであれば、要綱を別途用意する必要がある。住民の意見を聴取するのはよいことだが、かなり慎重に行われなければならない。 ・ 住民の皆さんには、「議会基本条例とは何だろう」というところから説明してご理解いただく必要があると思うので、パブリックコメントや地域めぐり懇談会で意見を求めるにしても、ある程度のものであがってないと意見を求められないと考える。 ・ たしかに町民の中には多種多様な考えがあるため、しっかり説明をしていく必要がある。 ・ 資料で示された調査スケジュールのたたき台では、条文だけで意見を求めるというのは難しいので、逐条解説をつくってからパブリックコメントを求める流れとなっている。自治基本条例のように逐条解説があれば、よい意見を聴取できると考える。 ・ これから調査を進めていく中で、どのように住民から意見を聴取すべきか、自ずと議論になるため、今後、順次詰めていければと考える。 ・ 先般の定例会において予算決算審査特別委員会を設置したことで、それを報道で知った町民から、決算と予算の連動した審査に取り組む議会の活動
委員	11番 瀧川	
委員長	14番 佐藤	
委員	3番 田村	
委員	12番 松原	
議長	西原	

第1回議会基本条例調査特別委員会 要点記録

		<p>を評価する声が寄せられた。このため、本日も報道機関が傍聴しているが、積極的に情報発信をすることで、町民からの反応をトータルで得られるような気がしている。月に2回の調査であり、他の調査もあるため多忙となるが、委員各位には、今後の審査についてよろしくお願ひしたい。</p>
委員長	14番 佐藤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事1と2を通じて本日の調査を振り返り、質疑があればお受けしたい。 (「なし」の声あり)
委員長	10番 小林	議事3 その他
委員長	14番 佐藤	<ul style="list-style-type: none"> ・ この際なので、何かご意見があればお受けしたい。
委員	12番 松原	<ul style="list-style-type: none"> ・ これからも会議が続くが、分かりやすい会議運営、分かりやすい説明をしてほしい。
委員	15番 戸田	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去に議会基本条例を制定しようという議論があり、自治基本条例を制定する段階であったので見合わせたわけだが、その際に多様な意見があったことは間違いない。時代の変化とともに、議会基本条例の制定をこれから進めるわけだが、条例が一人で走ることのないように、行政あつての議会、議会あつての行政、この考え方を基に調査を進めていく必要がある。町民には、議会基本条例とは何であるのか、今後説明を尽くす必要がある。
委員長	14番 佐藤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民の中には、行政と議会の境目が分からなかったり、行政にものを言えばよいと考えている方もいる。この機会に、町民に議会の役割を知ってもらう機会としたい。
委員長	14番 佐藤	閉会挨拶
委員長	14番 佐藤	11:52 閉会